

事前評価書

年度	R3
整理番号	
事業主体	大分県

事業名・路線名等		無電柱化事業 国道500号(石垣工区) <small style="margin-left: 100px;">いしがき</small>	事業主体	大分県
所在地		別府市石垣西 <small style="margin-left: 100px;">いしがきにし</small>		
事業概要	事業の目的	本事業では、電柱・電線をなくすことにより、災害時における緊急輸送道路としての機能の向上及び「日本一のおんせん県おおいた」の顔としての良好な沿道景観の向上を目的とする。		
	事業内容	【計画延長・幅員】 L=440m、W=13.0(30.0)m 【事業内容】 電線共同溝 整備延長L=880m 【道路区分】第4種第1級 【設計速度】V=50km/h 【現況交通量】19,273台/日(H27センサス)		
	事業費	C= 1,100百万円		
事業の実施計画	完成予定年	着手から7年(令和10年度)		
	事業段階毎の実施計画	1年目 路線測量、電線共同溝設計、調査(地下埋設状況、地質) 2年目 電線共同溝工事(配管) 3年目 電線共同溝工事(配管) 4年目 電線共同溝工事(配管) 5年目 電線共同溝工事(配管) 6年目 電線共同溝工事(配管) 7年目 電線共同溝工事(配管) 完成		
事業の必要性	必要性・緊急性	1)別府国際観光港耐震岸壁(第4ふ頭)～陸上自衛隊別府駐屯地～別府ICを結ぶ緊急輸送路であるが、災害時に電柱が倒壊し通行不可能となる恐れ。 2)道路上の電柱・電線が「湯けむり景観」や風光明媚な「扇山」等の別府の景観を阻害。 3)九州の東の玄関口である「別府国際観光港」からの眺望を改善するため国道10号側から着手したい。		
	整備効果	1)災害時に救助活動や支援物資の輸送などの緊急輸送道路としての機能の向上。 2)良好な沿道景観の向上。		
事業手法・工法の妥当性	費用対効果分析	・無電柱化事業のため費用便益比の算出は困難であり、道路の利用状況から総合的に判断する。		
	工法の妥当性	・電線を地中に埋設するものであり一般的な工法。 ・九州地区電線共同溝マニュアル(案)【改訂版】の適用。		
	コスト縮減	・共同溝の浅層埋設によるコスト縮減。		
	環境等への配慮	・既設道路敷内に電線を埋設することから地形改変が少ない。 ・電柱・電線がなくなることによる景観への配慮。		
事業実施環境	事業の実効性	・別府市より事業要望が上がっており、支援体制が整っている。		
	事業の成立性	・電線共同溝の整備等に関する特別措置法により事業を実施。 ・無電柱化推進事業費補助制度要綱に規定された事業内容、採択基準の要件に適合。		
	事業の特殊性	・既存埋設占用管(上下水道、電力、通信、温泉管など)との配管への配慮。		
対応方針		・以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい。		

事業箇所位置図

